

人事活動・施策実態アンケート

REPORT

人的資本 編

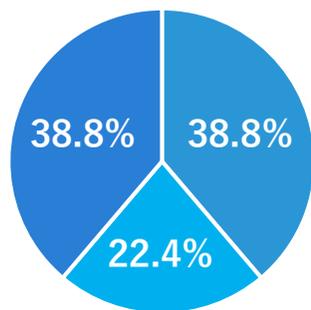


実施期間 : 2022/7/21 ~8/10 実施形態 : WEBアンケート 回答企業数 : 116社

AGENDA

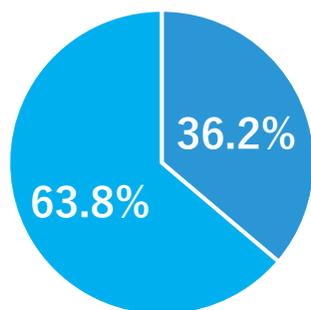
1. 回答者属性
2. コロナ禍における人事課題
 1. 人事課題の変化
 2. 現在取り組んでいる施策
 3. 今後取り組みが必要な施策
3. 人的資本について
 1. 人的資本に対する重要度
 2. 人的資本経営の取り組み状況
 3. 「取り組んでいる」企業の回答
 4. 「取り組んでいない」企業の回答
4. 人的資本の取り組みに必要なツールとは
5. その他フリーコメント抜粋

1. 回答者属性



従業員数

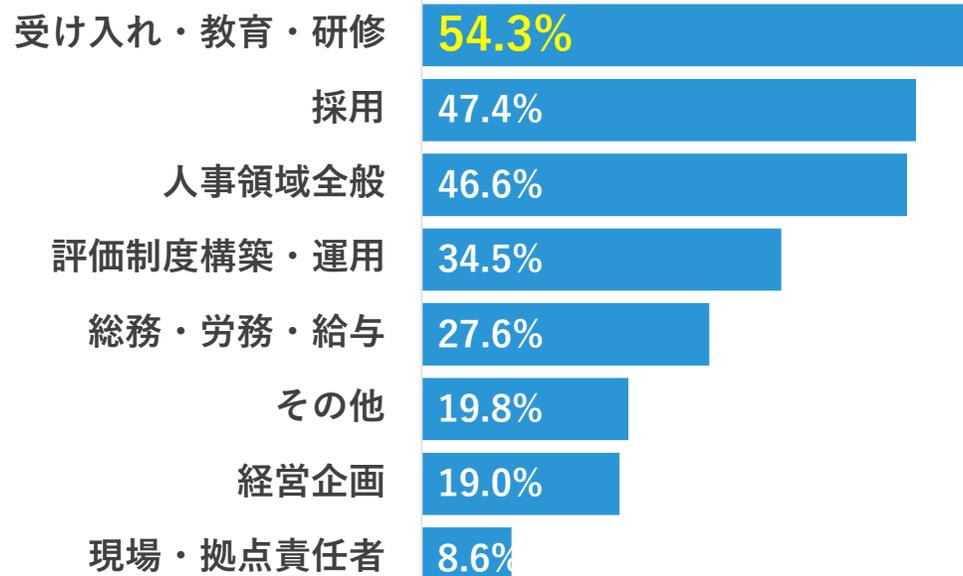
- 299名以下
- 300～999名
- 1000名以上



上場／非上場

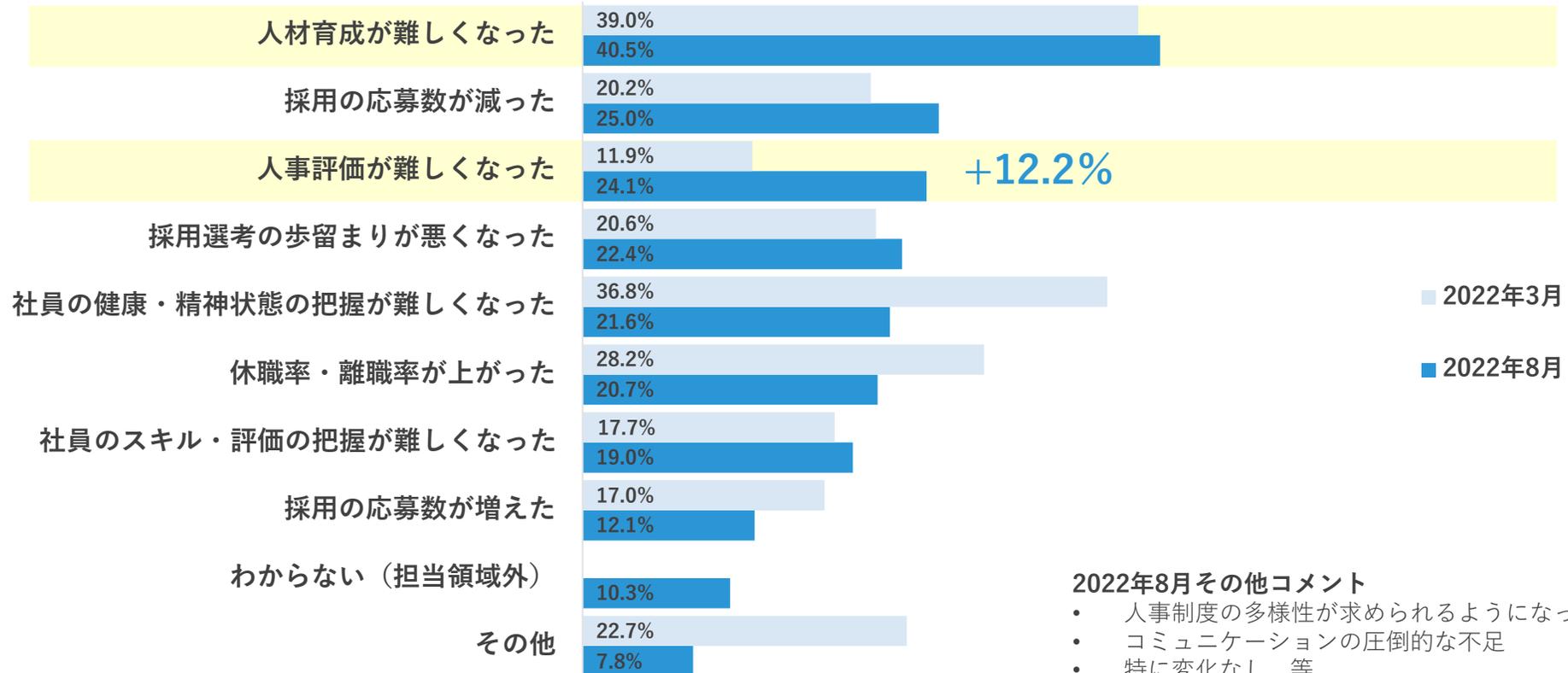
- 上場
- 非上場

担当業務領域



2-1. コロナ禍での人事課題の変化

(複数回答)

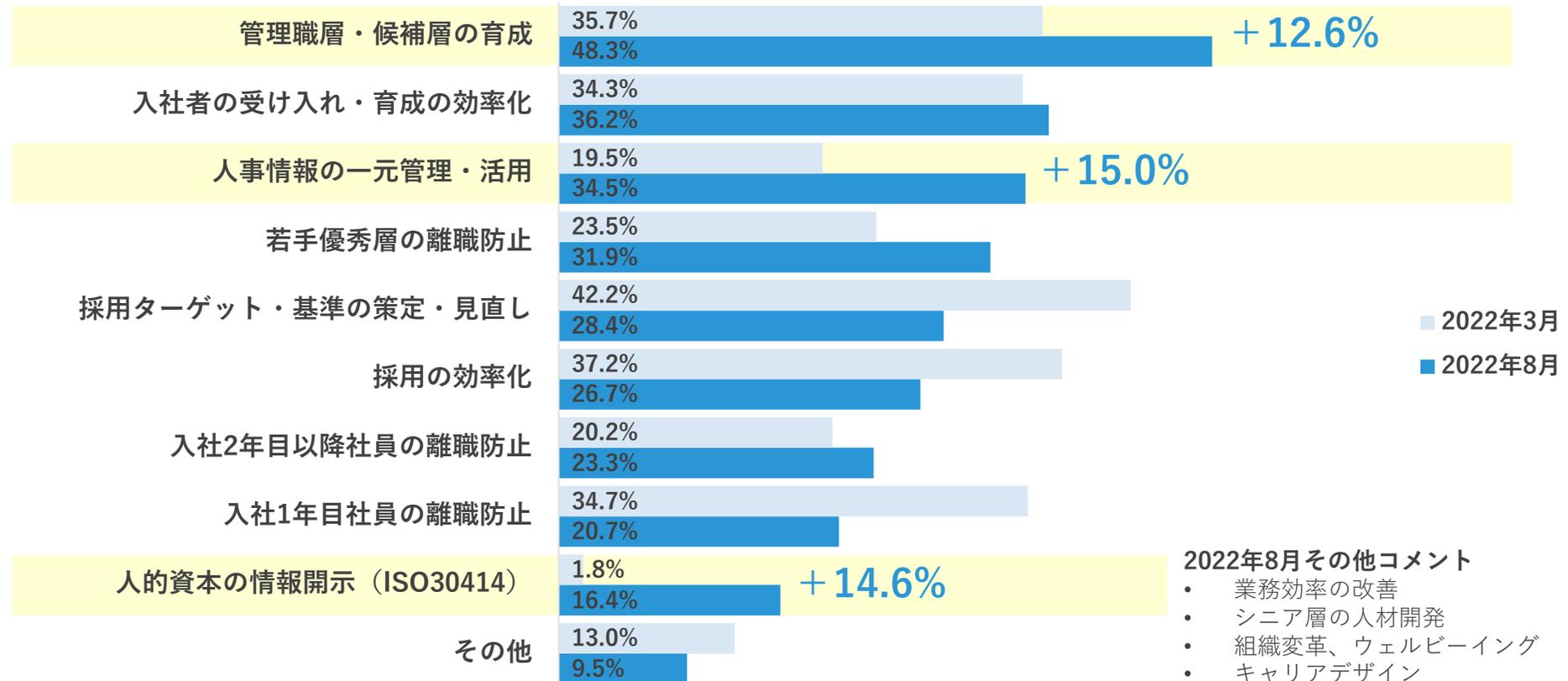


2022年3月「人事活動・施策実態アンケート」との比較
実施期間：2022/3/7～4/28 実施形態：WEBアンケート・電話ヒアリング 回答企業数：270社

「人材育成」に課題を感じている企業が40%と引き続き最多。
「人事評価」は3月と比べて12.2%UP。

2-2. 現在、取り組んでいる人事施策

(複数回答)

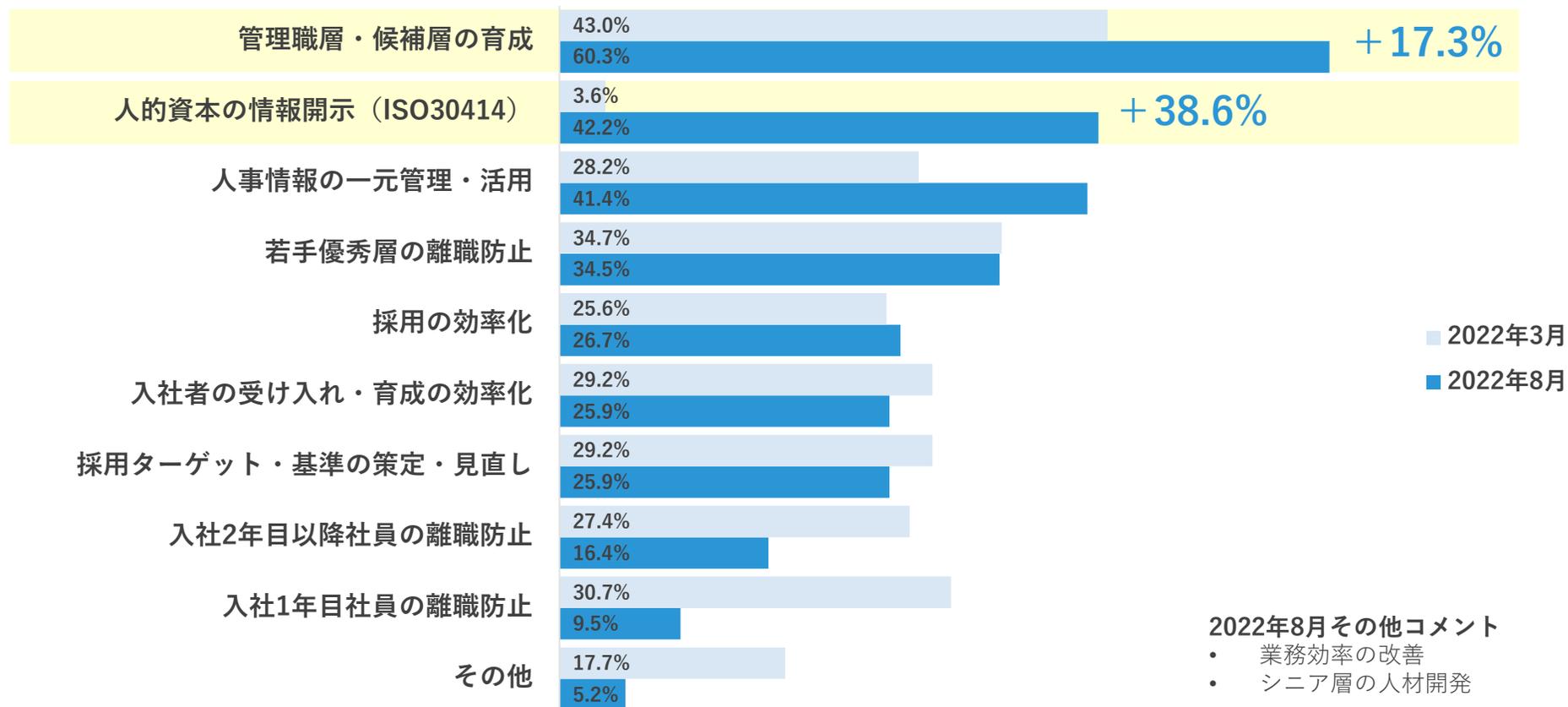


2022年3月「人事活動・施策実態アンケート」との比較
実施期間：2022/3/7～4/28 実施形態：WEBアンケート・電話ヒアリング 回答企業数：270社

「管理職層・候補者層の育成」「人事情報の一元管理・活用」「人的資本の情報開示」の回答が3月より増えている。

2-3. 今後、取り組みが必要と考えている人事施策

(複数回答)



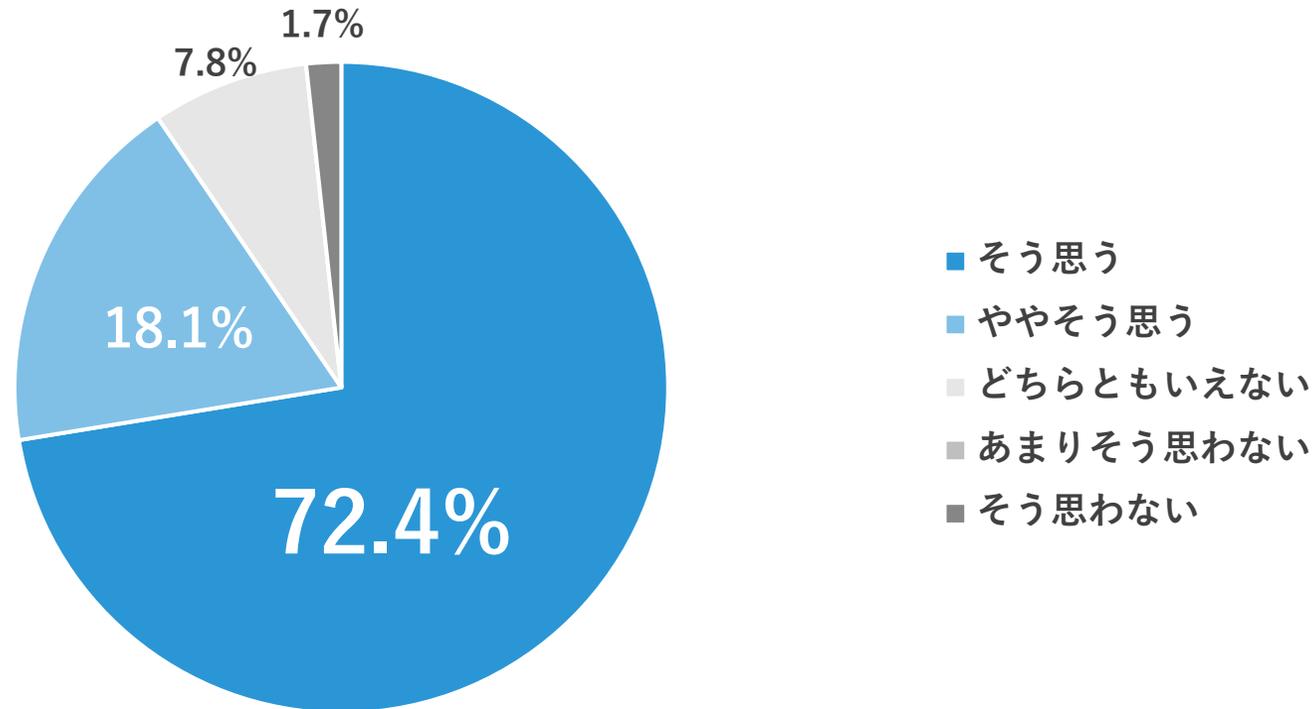
2022年3月「人事活動・施策実態アンケート」との比較
実施期間：2022/3/7～4/28 実施形態：WEBアンケート・電話ヒアリング 回答企業数：270社

今後取り組みが必要な施策は「管理職層・候補層の育成」が依然として高い。3月と比較すると、「人的資本の情報開示」は38.6%UP。人的資本の情報開示に対する関心の高まりが窺える。

3-1. 人的資本に対する重視度

(単一回答)

Q. あなたは人的資本は重要なことだと認識していますか？

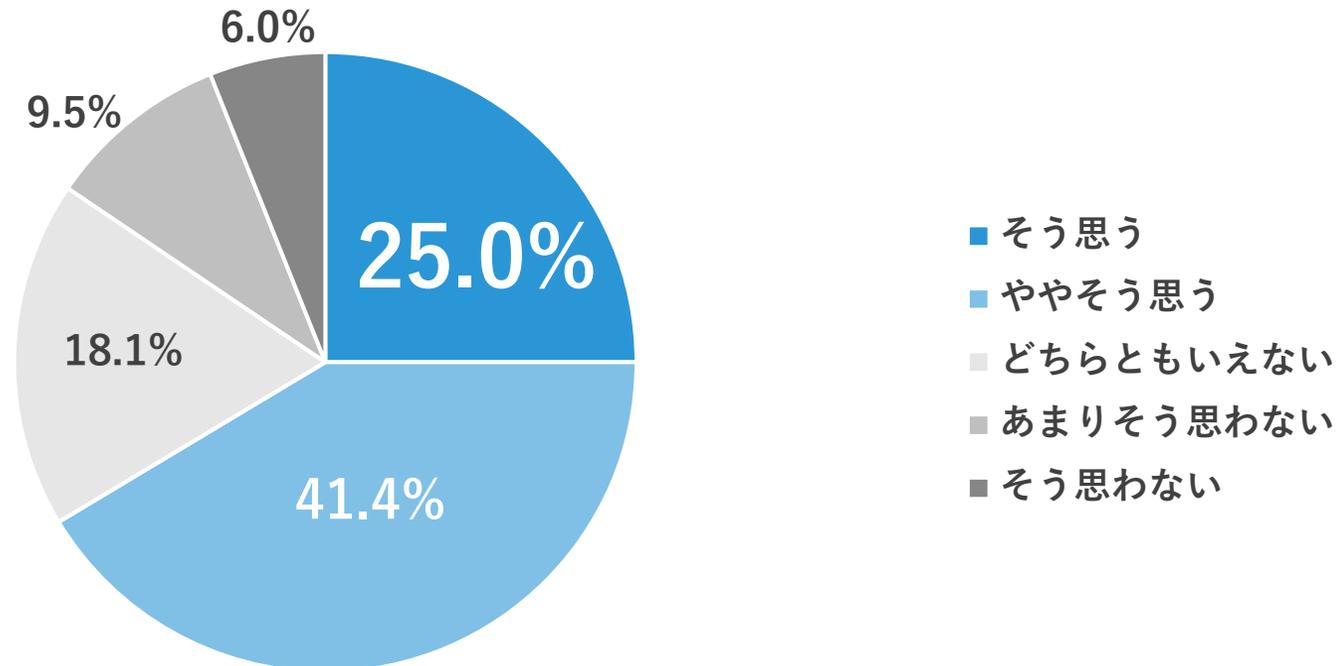


「そう思う」の回答は4人に3人。

3-1. 人的資本に対する重視度

(単一回答)

Q. 経営陣は人的資本は重要なことだと認識していますか？

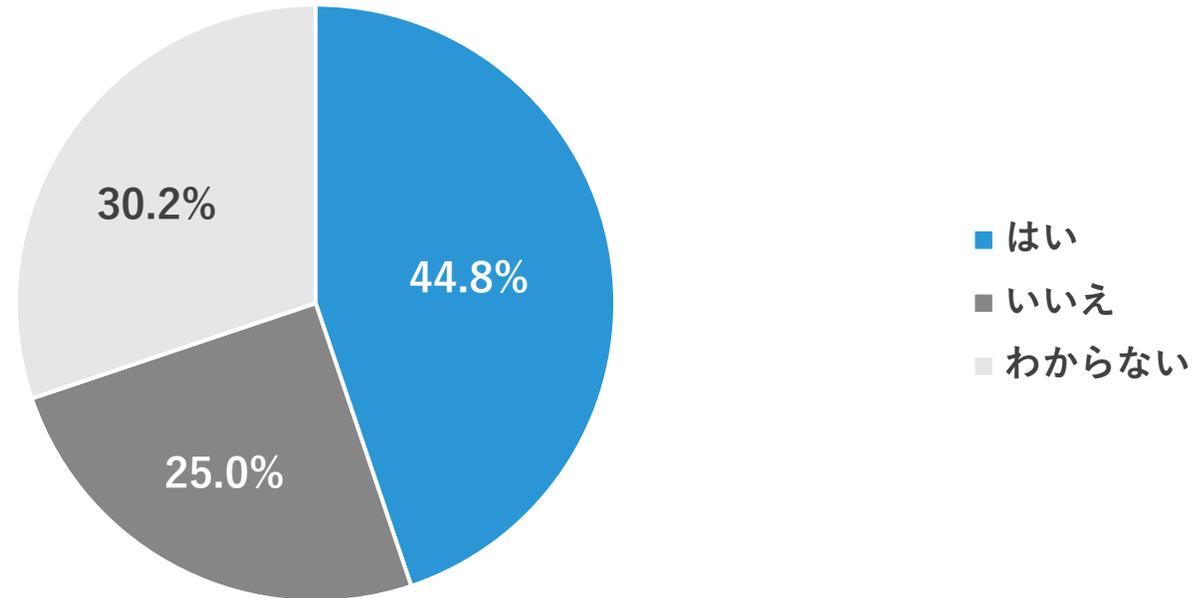


「経営陣もそう思っている」は4人に1人で、自身の認識と乖離がある。情報開示の義務化も進んでいるため経営陣の認識はあるが、従業員との対話がなされておらず、認識の不一致があるのではないかと推察される。

3-2. 人的資本経営の取り組み実行有無

(単一回答)

Q.人的資本経営の取り組みを何かしら実行していますか？

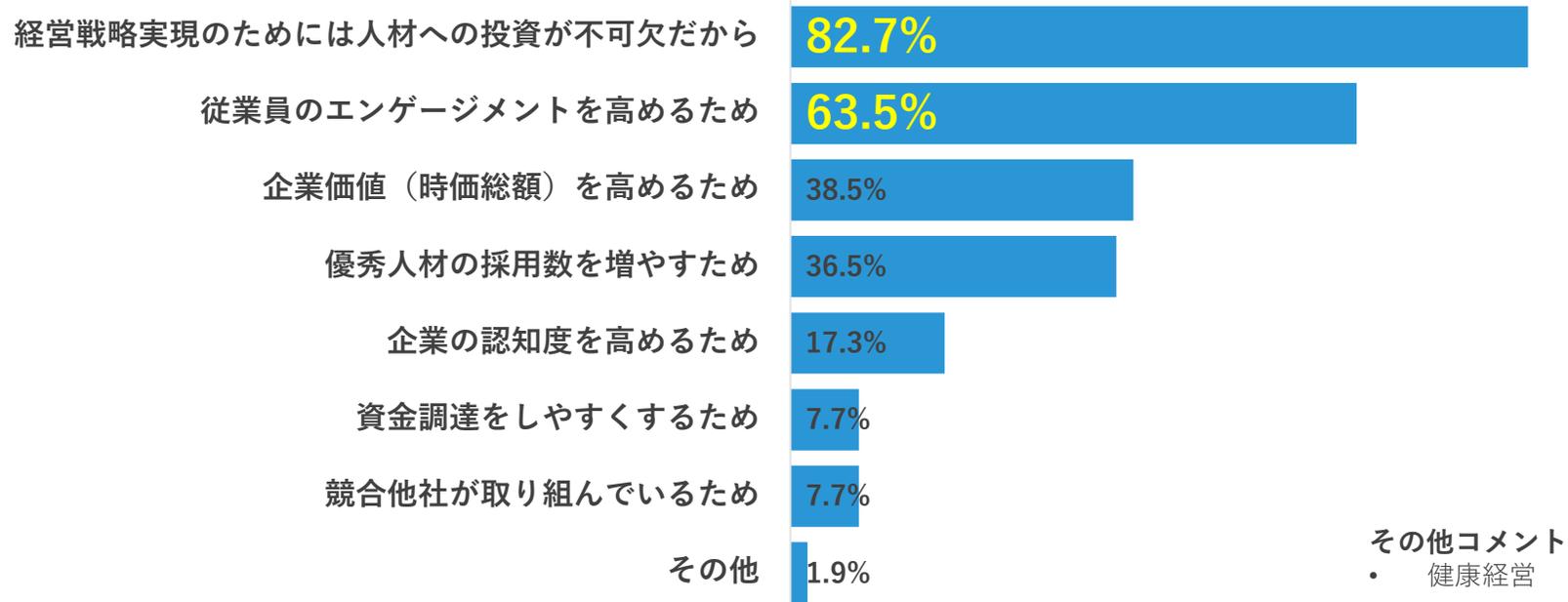


約半数が取り組みを実行している。「わからない」という回答も30.2%ある。

3-3. 「取り組んでいる」企業の回答

※取り組みを実行していると答えた企業のみ、複数回答

Q.人的資本経営の取り組みを実行する理由は何ですか？

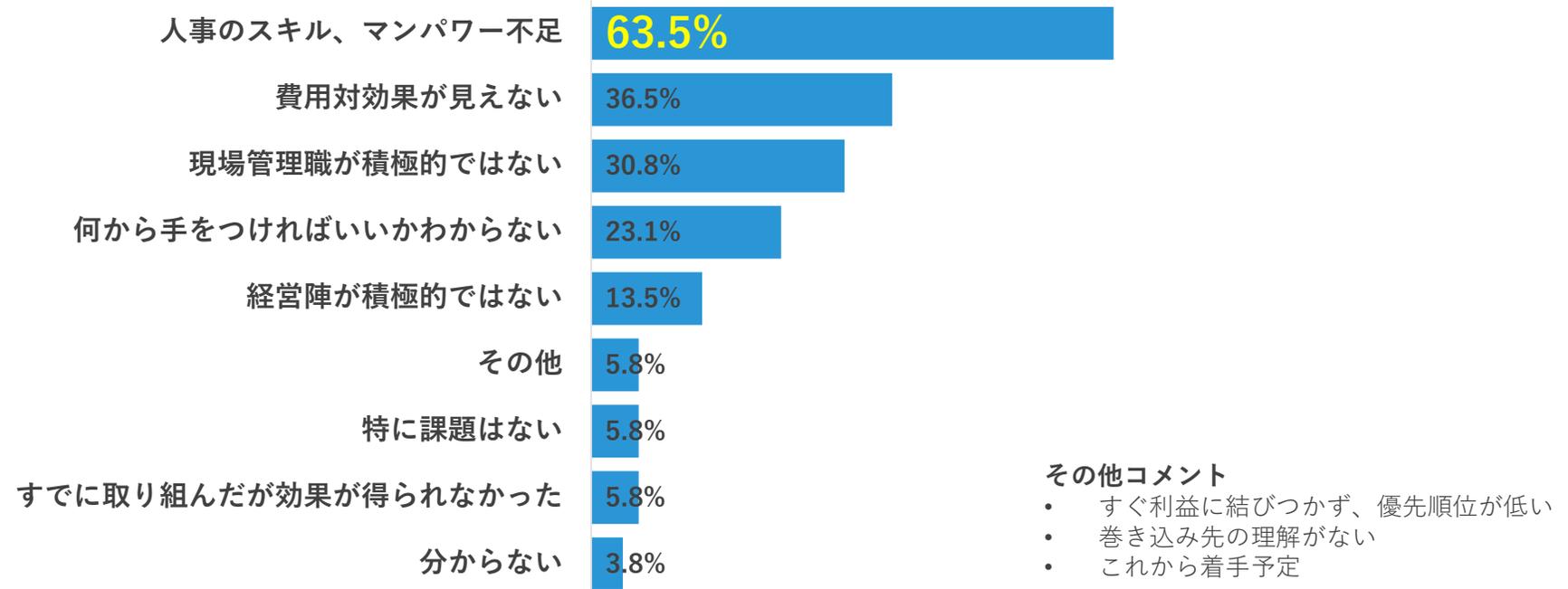


「経営戦略実現のために人材に投資している」が約8割と最多。
「従業員のエンゲージメント」という理由も多い。

3-3. 「取り組んでいる」企業の回答

※取り組みを実行していると答えた企業のみ、複数回答

Q.人的資本経営に取り組む上で、課題は何ですか？

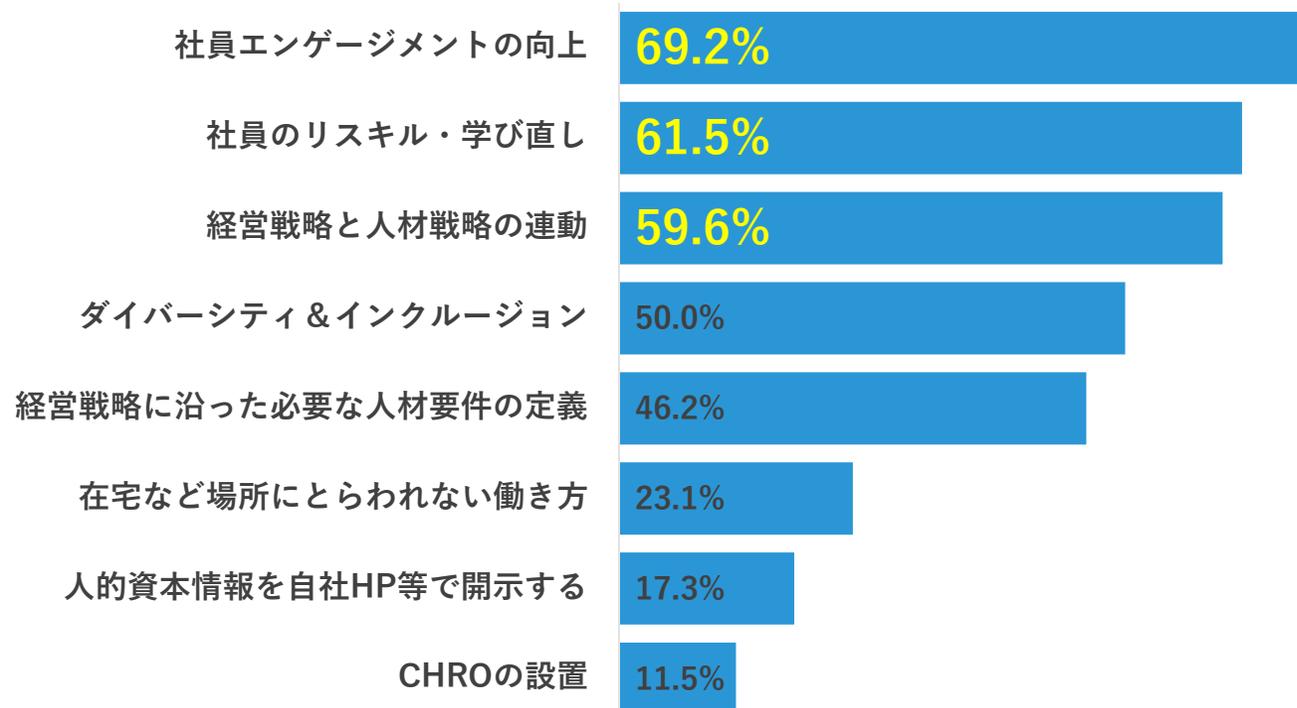


一番の課題は「人事のスキル、マンパワー不足」。

3-3. 「取り組んでいる」企業の回答

※取り組みを実行していると答えた企業のみ、複数回答

Q.特に取り組んでいる/今後取り組みたいテーマは何ですか？

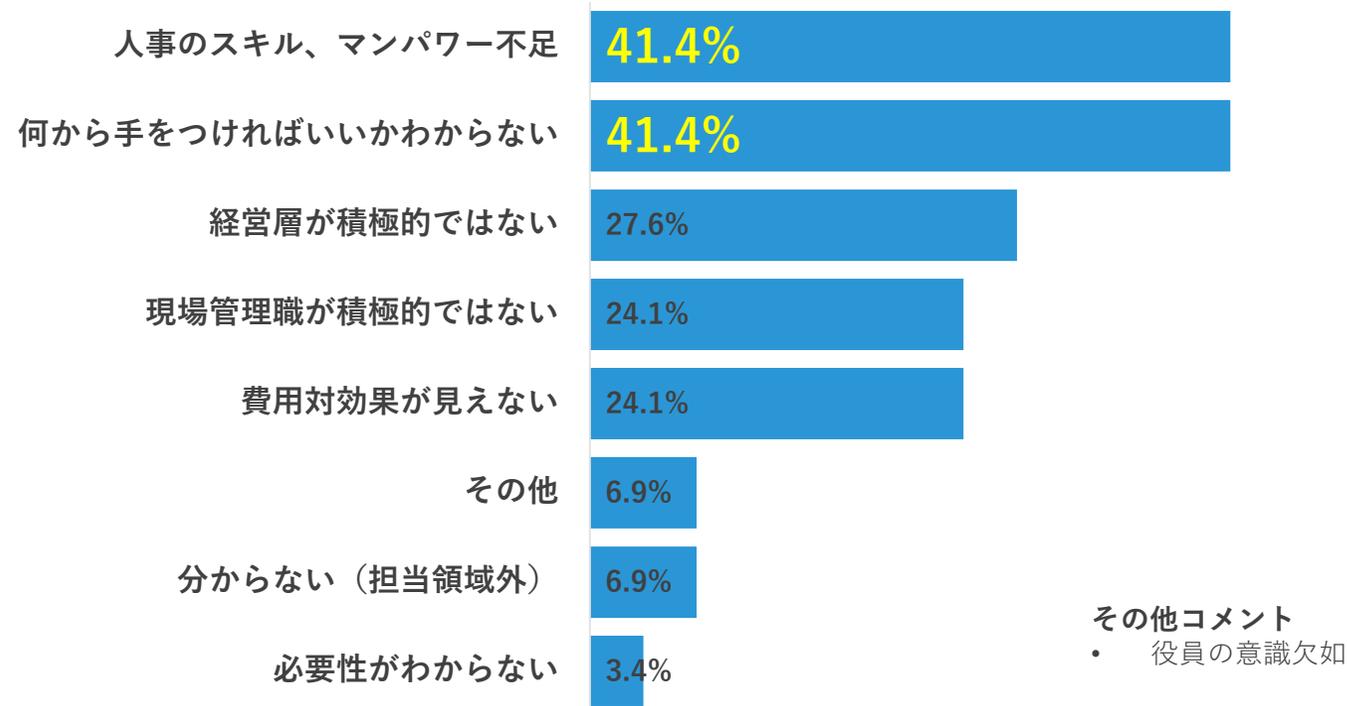


「社員エンゲージメントの向上」が最多、続いて「社員のリスクル・学び直し」「経営戦略と人事戦略の連動」。

3-4. 「取り組んでいない」企業の回答

※取り組みを実行しているかの質問に「いいえ」と答えた企業のみ、複数回答

Q.人的資本経営に取り組まない理由は何ですか？

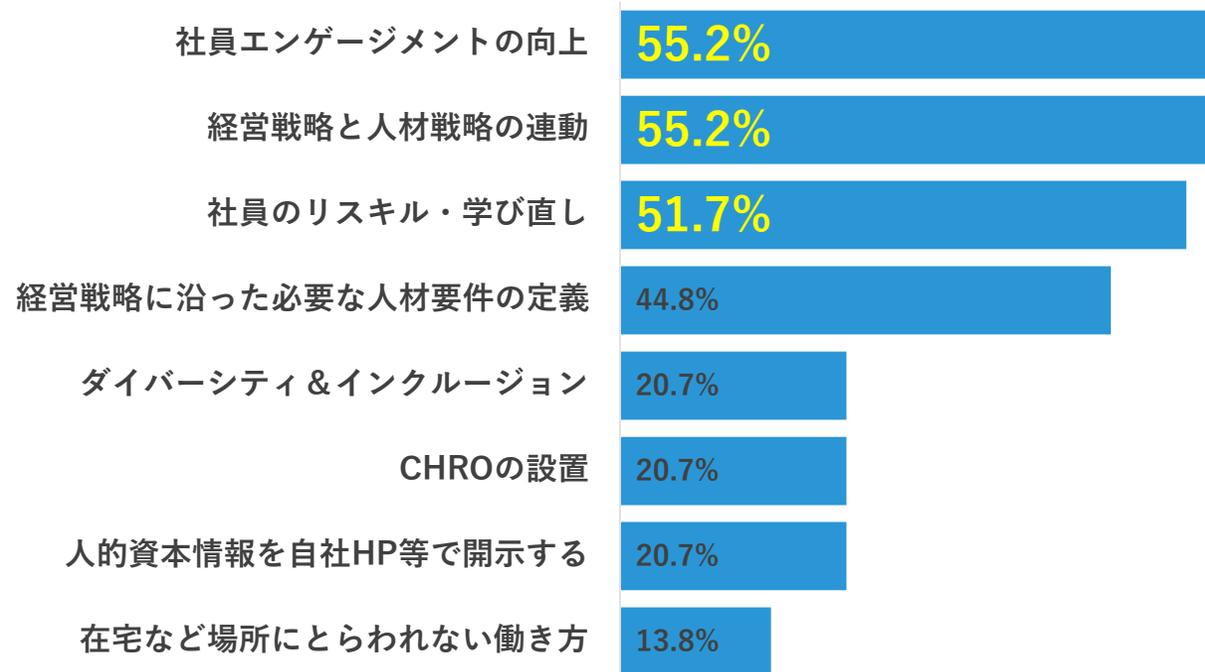


取り組んでいる企業同様、「人事のスキル、マンパワー不足」は一番の課題。

3-4. 「取り組んでいない」企業の回答

※取り組みを実行しているかの質問に「いいえ」と答えた企業のみ、複数回答

Q.人的資本経営に取り組むなら、何から取り組みたいですか？

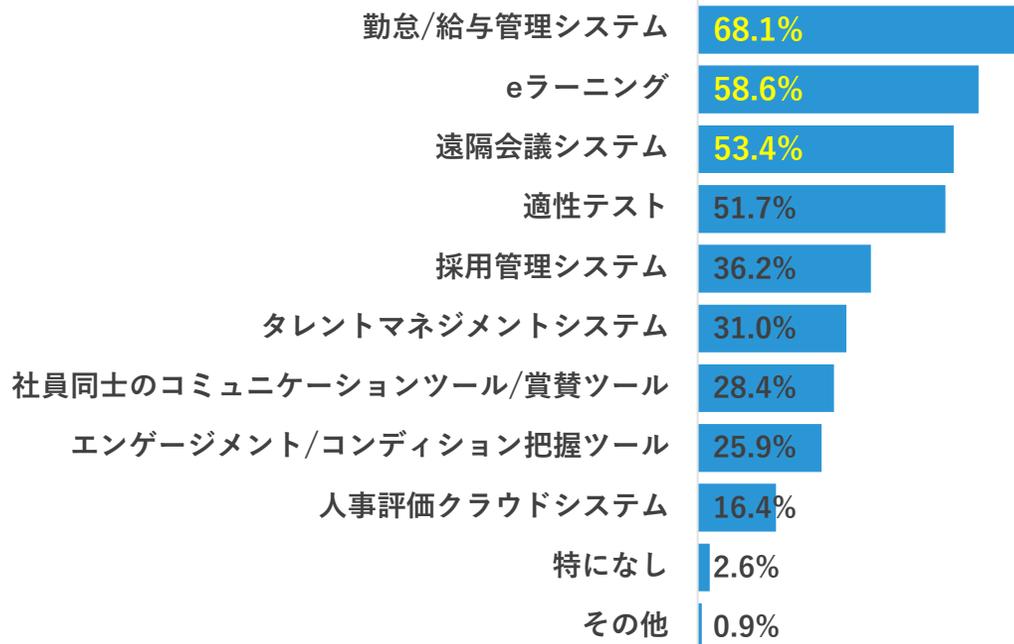


取り組みたいテーマは、すでに取り組んでいる企業とほぼ差がない。

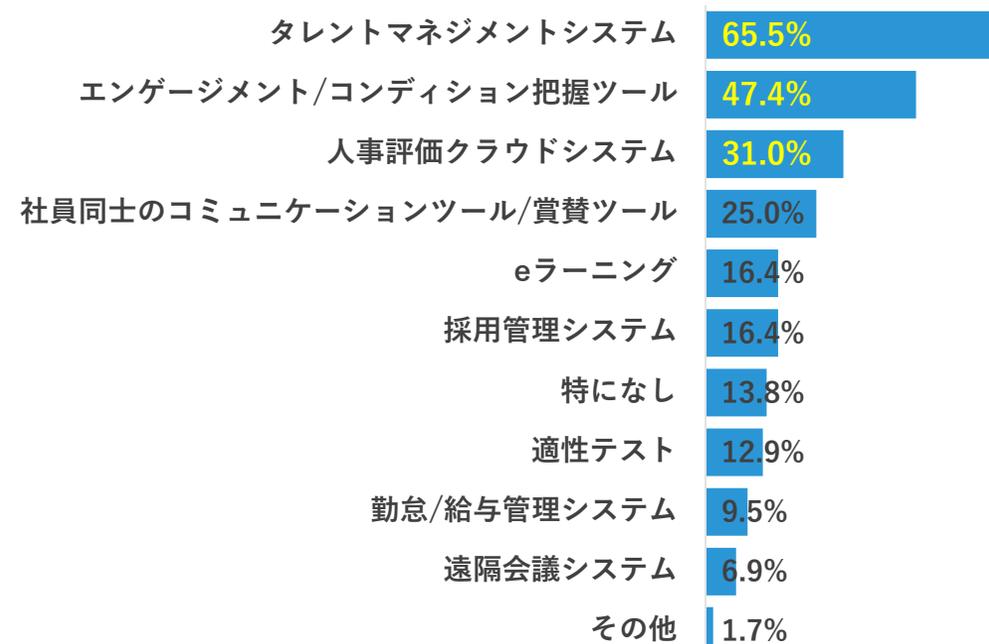
4. 導入中／人的資本経営に必要なツール

(複数回答)

導入中のツール



必要なツール



人的資本経営には、「タレントマネジメントシステム」「エンゲージメント/コンディション把握ツール」が求められている。今導入している企業は少ないものの、今後人的資本経営の広まりとともに、導入企業が増えていくと予想される。

5. その他フリーコメント抜粋

- 投資対効果の把握はどうすべきなのか。
- どうしたら幹部層を始め、中堅層・全社へ意識統一ができるのか知りたい。
- エンゲージメント、ウェルビーイング、健康状態等の把握とそれらデータの活用方法
- 日本でも人的資本の情報開示について義務化されたが、これに関連してどのような能力やスキルを持った人材が転職市場で重宝されるようになるのか知りたい。
- 他社の取り組みや事例等、参考にしていきたい。
- 人的資本経営を進めるにあたってのHR領域のシェアードサービスまたはアウトソーサーの活用

入社後活躍を最大化するエン・ジャパンのHRサービス



採用 配置

活躍できる「人財」を発見する・見極める
受検時間約35分の短時間で完了
ビジネスシーンに必要な要素を多角的に測定



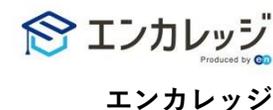
定着

導入企業8,000社
毎月アンケートで離職リスクを可視化するとともに適切な対策をお知らせ



採用 配置

組織や応募者との相性がひと目でわかる
受検時間約6分
組織活性化のためのチーム相性テスト



教育

「考え方」×「能力」を可視化
従業員のリススキルを支援する
エン・ジャパンのeラーニング



採用 配置 定着 教育 評価

人材の可視化と入社後活躍のノウハウで
経営人事を実現するタレントマネジメントシステム

詳細・お問い合わせは各サービスロゴをクリックください